



河合新蔵《富士山》 1902(明治35)年頃

2017(平成29)年度に新たに収蔵した、静岡県立美術館コレクション9点を一堂にご紹介・展示します。河合新蔵の富士山を描いた油彩画と小林清親の木版画の計2点を購入したほか、2名の篤志の方々から、計7点の作品をご寄贈いただきました。9点の内訳は、日本洋画2点、版画1点、現代美術(写真含)6点です。何れも、東西の風景画を核として収集に努めてきた当館のコレクションに彩りを添える作品たちです。この機会に、是非一度ご鑑賞ください。



小林清親《從箱根山中富嶽眺望》 1880(明治13)年

# 新 収蔵品 展

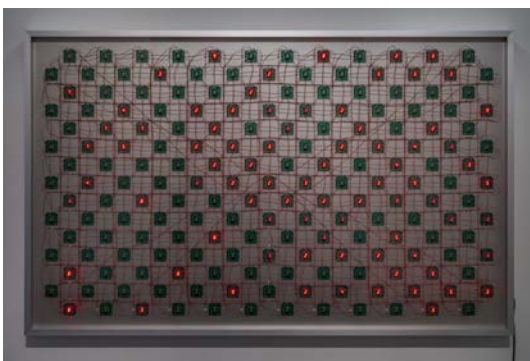
2018

7/14 土 9/2 日

2017(平成29)年度ご寄贈者様 (五十音順)

太田正樹様

辻韶彦様



宮島達男《LIFE (complex system) - no.1》 2017(平成29)年

## フロアレクチャーのご案内

当館学芸員が展示室で作品について解説します。

7月29日(日) 14:00~

## 石川直樹アーティストトーク 「旅と写真—経験を撮るとのこと」

世界中の山々から島嶼、都市まで様々な場所を旅し、制作する写真家・石川直樹氏をお招きし、出品作品や最近の活動についてお話をお聞かせします。

8月26日(日) 14:00~

※申込不要、先着50名程度、展示室での聴講は観覧料が必要です。

場所：当館第7展示室、講座室

集合場所：本展展示室



石川直樹《Mt. Fuji #38》 2008(平成20)年

# 新収蔵品展

## 第7展示室 7月14日(土)～9月2日(日)

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横×奥行cm)
1	チャールズ・ワーグマン	1832-1891(天保3-明治24)	富士遠望図	1876(明治9)以降	キャンヴァス、油彩	41.2×76.2
2	小林清親	1847-1915(弘化4-大正4)	駿河湖日没の富士	1879(明治12)	紙、木版、色摺 大判錦絵(2枚組)	右36.5×24.7 左36.6×24.7
3	小林清親	1847-1915(弘化4-大正4)	従箱根山中富嶽眺望 ●	1880(明治13)	紙、木版、色摺	25.0×36.8
4	五姓田義松	1855-1915(安政2-大正4)	富士	1905(明治38)	キャンヴァス、油彩	46.8×101.5
5	河合新蔵	1867-1936(慶応3-昭和11)	富士山 ●	1902(明治35)頃	板、油彩	21.2×33.4
6	和田英作	1874-1959(明治7-昭和34)	富士	1918(大正7)	キャンヴァス、油彩	60.6×80.2
7	吉田博	1876-1950(明治9-昭和25)	上高地の春	1927(昭和2)	キャンヴァス、油彩	80.5×116.8
8	中川八郎	1877-1922(明治10-大正11)	松原	1902(明治35)頃	紙、水彩	33.8×51.0
9	小栗哲郎	1904-2000(明治37-平成12)	裏のみかん山	1968(昭和43)頃	キャンヴァス、油彩	45.6×53.2
10	小栗哲郎	1904-2000(明治37-平成12)	夕陽 ●	1934(昭和9)	キャンヴァス、油彩	65.5×91.0
11	宮島達男	1957(昭和32)-	LIFE (complex system) - no.1 ●	2017(平成29)	LED、IC、イケガミプログラムのマイコン、電気ワイヤ、赤外線センサー、アクリル板、アルミニウムハニカムパネル、ステンレススチールフレーム	200.2×320.4×13.3
12	石川直樹	1977(昭和52)-	Mt. Fuji #38 ●	2008(平成20)	Cプリント	90.0×112.0
13	石川直樹	1977(昭和52)-	Mt. Fuji #41 ●	2008(平成20)	Cプリント	90.0×112.0
14	石川直樹	1977(昭和52)-	Mt. Fuji #48 ●	2008(平成20)	Cプリント	90.0×112.0
15	石川直樹	1977(昭和52)-	Mt. Fuji #55 ●	2008(平成20)	Cプリント	90.0×112.0
16	石川直樹	1977(昭和52)-	Mt. Fuji #80 ●	2008(平成20)	Cプリント	90.0×112.0

## 名品コーナー(1階エントランス)

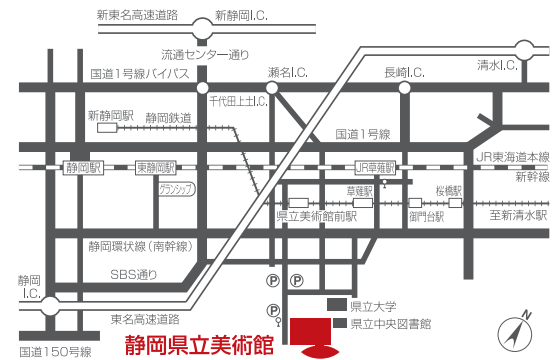
	作家名	生没年	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横×奥行cm)
右	宮島達男	1957(昭和32)-	C.F.Lifestructurism - no.13 ■	2009(平成21)	LED、IC、電線	44.5×44.5×6.5
中	宮島達男	1957(昭和32)-	Changing Time with Changing Self No.6(Blue) ■	2001(平成13)	LED、IC、電線、鏡、ステンレス鋼パネル	94.0×94.0×5.6
左	宮島達男	1957(昭和32)-	Opposite Harmony ■	1990(平成2)	LED、IC、電線、アルミニウムパネル(2ユニット)	各11.6×26.0×3.5

- \*●は新収蔵品です。
- \*■は個人蔵、その他の作品は全て当館の所蔵品です。
- \*状態などにより、展示作品が変わる場合があります。

## 同時開催 企画展 安野光雅のふしぎな絵本展 7月14日(土)～9月2日(日)

- 開館時間/10:00～17:30(展示室への入室は17:00まで)
- 休館日/毎週月曜日  
※月曜日が祝日の場合は、翌日・火曜日休館 ※夜間開館/8月の毎土曜日は19:00まで開館(展示室への入室は18:30まで)
- 観覧料/一般 300円(団体200円)、大学生以下・70歳以上無料  
\*企画展をご覧になった方は無料。企画展の観覧料は、展覧会ごとにより異なります。\*団体のお申込/20名以上の団体のお申込は、美術館総務課へお問合せください。学生の団体を引率の場合、引率の先生は無料になる場合があります。詳しくは美術館まで。\*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は、企画展、収蔵品展とも無料でご覧いただけます。専用駐車場のほか、車椅子も完備しております。美術館総務課までお問合せください。
- 託児・授乳室/無料、予約不要でご利用できます。  
\*託児/毎週日曜日および祝日、10:30～15:30。対象は乳児・幼児(6ヶ月～小学校就学前)。お預かりできる時間は2時間以内です。ご希望が多い場合は、お断りすることもあります。\*ベビーカーを無料でご利用できます。インフォメーションカウンターにお声をおかけください。

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 Tel. 054-263-5755 Fax. 054-263-5767  
 ウェブサイト <http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>  
 お問い合わせ 総務課/054-263-5755 学芸課/054-263-5857 テレフォン・サービス 054-262-3737



- 交通案内
- JR「草薙駅」から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分
  - JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分
  - JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分
  - 静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分
  - 東名高速道路・静岡IC、清水IC、または新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分